

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

自然観察館20周年記念「恐竜展」

9月14日(金)～1月20日(日)の期間に「タイムトラベル・恐竜世界～わくわく! 恐竜展」が開催されます。

大型恐竜ステゴサウルスの全身骨格標本をはじめ、ティラノサウルスの頭骨標本などを展示し、化石発掘体験・レプリカづくり、折り紙で恐竜をつくろうなど様々な関連行事を行います。

また、11月17日(土)は、ふれあいの丘天文館・自然観察館共催による特別講演会「おはなし玉手箱～宇宙・恐竜・大進化」を県立博物館 柏村 氏を講師に招き、開催いたします。

参加には事前申込みが必要となりますので、詳しくは、ふれあいの丘自然観察館HPなどをご覧ください。この機会に恐竜の大きさを体験してみよう!!

来てね!



(写真はイメージです)

第16回なすまち子どもフェスティバル

7月29日(日)に那須町文化センターで16回目となる、「なすまち子どもフェスティバル」が開催されました。

昨年に引き続き、子どもだけが入れる「子どものまち」を設けました。子どものまちでは、子ども店長が開くお店やハローワークで仕事を見つけ、働くことで独自通貨「なす」を稼ぎ、自分のほしいものを買うことが出来ます。子どもたちは、欲しいものを買うには、働いてお金を稼がなければいけない、ということを経験出来ました。

子どもフェスティバルは、那須町ジュニアリーダーズクラブや子ども店長、そして地域の大人の方が実行委員になり準備を進めてきました。今回の目玉の一つでもある「段ボール迷路」は、大人の実行委員の方たちが平日の仕事終わりに集まり、協力して作成しました。このように、子どもから大人まで互いに協力し合っ



たくさんの友達と共に学びました!

7月23日(月)～7月27日(金)にかけての5日間、青少年健全育成事業「洋上北海道学習」が行われました。那須塩原市内の小学6年生64名が参加し、北海道の歴史や文化を学びながら雄大な自然に触れ、日常生活では味わうことのできない船内での生活を体験しました。

また、8月7日(火)～8日(水)の2日間、埼玉県新座市との姉妹都市交流事業「ちびっこふるさと探検隊」が那須塩原市で行われました。両市の小学校5・6年生合わせて34名が参加し、溪流でのキャニオニングなどを体験しました。

子どもたちはたくさんの友人と出会い、共に学び、共同生活の中でお互いの良さを知り、良き友と良い思い出をつくってきました。この学習で得た貴重な体験と周りの人たちとの絆が、子どもたちをさらに大きく成長させたのではないのでしょうか。



洋上北海道学習
(漁船乗船体験)



ちびっこふるさと探検隊
(キャニオニング)

とちぎ子どもの未来創造大学

本県では、県内の高等教育機関、民間企業等と連携しながら、小学4年生から中学3年生までの受講生を対象に「本物」に触れる学習機会を提供する、「とちぎ子どもの未来創造大学」を実施しています。

今年度も県内各地で様々な講座を予定しており、本地区では、8月3日(金)に「発明王エジソンの秘密」、8月7日(火)に「ならそう! たたこう! 世界の楽器」、8月8日(水)に「十二単と鎧を着てみよう」を那須町文化センターで、22日(水)に「ならそう! たたこう! 世界の楽器」を那須塩原市西那須野公民館で開催しました。県内各地から参加した受講生は楽しく活動できただけでなく、家庭や学校ではできない貴重な体験をしました。

今後、那須地区管内では、11月10日(土)に宇都宮共和国那須キャンパス(那須塩原市)で「超かんたん! クリップ・モーターをつくろう」、11月17日(土)に大田原市ふれあいの丘で「十二単と鎧を着てみよう」を予定しております。興味のある講座は、県内どの会場でも参加できます。詳細・申込み方法は「とちぎ子どもの未来創造大学」ホームページを御覧ください。

